

I ロシア革命とソヴィエト社会主義共和国連邦に関する次の文章を読んで、問1～問13に答えなさい。解答は、設問で指定された場合を除いて、すべて番号で解答用紙の〔解答欄 A〕の所定の欄に記入しなさい。

社会主義国家の建設は、人類の夢と希望を託された壮大な実験だった。その実験は、ロシア革命によって始まったのではなく、長い前史をもっている。

帝政ロシアの改革は、A ウィーン体制下、(a) 即位の際の(ア)の乱に始まる。B クリミア戦争を経て、(b) は農奴解放令を出したものの、C ポーランドの反乱後、専制政治を強化した。D ナロードニキと呼ばれるインテリゲンツァたちは、農村共同体のなかに社会主義の萌芽を見出し、それを基盤にした社会変革を目指した。しかし、ナロードニキの運動は、1881年の(b)の暗殺によって座礁し、また同年にE ポグロムが始まった。

その後、19世紀末には、マルクス主義に基づく(イ)党が結成され、まもなく、ポリシェヴィキとメンシェヴィキに分かれた。日露戦争のさなかの血の日曜日事件を契機とする第1次ロシア革命の後、1917年の二月(三月)革命、十月(十一月)革命という二つの革命を経て、世界で最初の社会主義政権が樹立された。F その際に出された布告は、第一次世界大戦の戦後処理のあり方にも大きな影響を与えている。

1922年に「ソヴィエト社会主義共和国連邦」が成立するが、その国名は、地域名を入れず、G「ソヴィエト」、H「社会主義」、I「共和国」、J「連邦」という四つの概念によって構成されたものであり、新しい時代の幕開けを示唆していた。

しかし、その後のK スターリン体制下で行なわれた大粛清は、L ポル=ポト政権下の大虐殺と並んで、人類史上に残る社会主義の汚点となった。

問1 上の文に関して、以下の(1)、(2)に答えなさい。

(1) 上の文中の(a)、(b)に入る適切な人名を、次の人名群1～6から選びなさい。

〔人名群〕

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. アレクサンドル1世 | 2. アレクサンドル2世 | 3. エカチェリーナ2世 |
| 4. ニコライ1世 | 5. ニコライ2世 | 6. ピョートル1世 |

(2) 上の文中の(ア)、(イ)に入る適切な語を、〔解答欄 B〕の所定の欄に記述しなさい。

問2 下線部 A に関連して、ウィーン体制の成立から崩壊に至る経緯を、下にあげた5つの語をすべて使って、〔解答欄 B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

正統主義 1848年革命 ナショナリズム ナポレオン ロシア

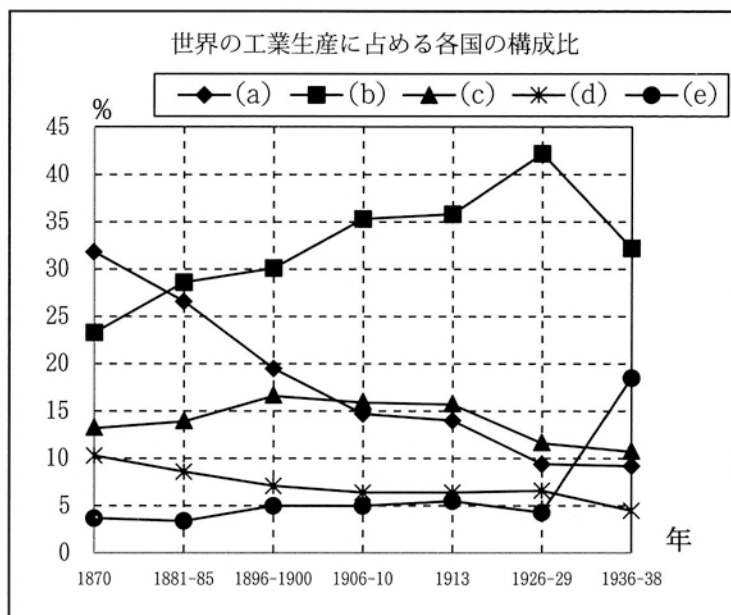
問3 下線部Bに関連して、以下の(1)～(3)に答えなさい。

(1) この戦争でロシアと戦ったオスマン帝国の当時の元首の人名を、〔解答欄B〕の所定の欄に記述しなさい。

(2) オスマン帝国に関する次の1～5の出来事を年代の古い順に並べ替え、左から記入しなさい。

1. ギュルハネ勅令発布 2. クリミア戦争開始 3. 青年トルコ革命勃発
 4. ミドハト憲法発布 5. 露土戦争終結(サン＝ステファノ条約締結)

(3) クリミア戦争は、ロシアに近代化の遅れを認識させることになる。次のグラフのb, c, eの国を、下の国名群1～6から選びなさい。ただし、a, dの両国は、この戦争でオスマン帝国側について戦った国である。



〔資料出所〕 League of Nations, *Industrialization and Foreign Trade* より作成。

〔国名群〕

1. アメリカ 2. イギリス 3. ドイツ
 4. 日本 5. フランス 6. ロシア(ソ連)

問4 下線部Cに関連して、ポーランドの分割について述べた次の文章の中から、誤りを含む文章を1つ選びなさい。

1. ヤゲウォ朝が断絶した後、選挙王制でポーランド国内が混乱していることに乗じて、プロイセン、オーストリア、ロシアは、それぞれポーランドから領土を奪った。
2. フランス革命のさなか、プロイセンとロシアは第2回の分割を行なった。アメリカ独立戦争に参加した経験のあるコシューシコの率いる義勇軍の反乱も鎮圧された。
3. プロイセン、オーストリア、ロシアは、ナポレオンによる大陸封鎖の混乱のなかでポーランドのすべての領土を分割し、ポーランドは国家として消滅した。
4. ポーランドは、第一次世界大戦によって独立を回復したが、独ソ不可侵条約を結んだドイツ、ソ連の両国から第二次世界大戦で侵攻され、分割占領された。

問5 下線部Dに関連して、以下の(1)～(3)に答えなさい。

- (1) 次の文章は、ナロードニキの運動に影響を与えたとされる著作の一部である。著者は、第一インターナショナルでマルクス派と対立したロシアのアナーキストである。この著者名を、下の人名群1～4から選びなさい。

わが国の人民は、明らかに援助を必要としている。彼らはひどい絶望状態にあり、どこかの一村だけを決起させるだけではとても間に合わない。たしかに、たとえ失敗しようとも、反乱はどんなものでもつねに有益だが、部分的爆発では不十分である。すべての村を急遽決起させねばならない。これが可能であることは、(a)や(b)の率いた大規模な人民の運動が証明している。

(資料出所は、省略する。)

〔人名群〕

1. バクーニン 2. プハーリン 3. プルードン 4. ベルンシュタイン

- (2) 上の文章の、(a)には17世紀後半に、(b)には18世紀後半にロシアで起こった農民反乱の首謀者の人名が入る。その人名を、〔解答欄B〕の所定の欄に記述しなさい。
- (3) 上の文章の波線部に関連して、農奴解放令が出されても、農民の境遇の改善がそれほど進まなかった理由を、〔解答欄B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問6 下線部Eに関連して、この「ポグロム」(ユダヤ人に対する組織的な虐殺)の十数年後、フランスではドレフュス事件が起こった。この点について、以下の(1)～(3)に答えなさい。

(1) プロイセン＝フランス戦争以降の独仏関係にかかわる次の1～4の出来事を年代の古い順に並べ替え、左から記入しなさい。

1. ドイツがオーストリア、イタリアと三国同盟を結ぶ。
2. ドイツがロシアとの間に再保障条約を結ぶ。
3. フランスがイギリスとの間に英仏協商を結ぶ。
4. フランスがロシアとの間に露仏同盟を結ぶ。

(2) ドレフュス事件に際して、『オーロール(曙)』紙上に大統領宛公開状を発表し、ドレフュスの無罪に尽力した作家の名前を人名群から、また、その作家の代表作を作品群から選びなさい。作家名については解答欄(a)に、作品名については解答欄(b)に、それぞれ答えなさい。

[人名群]

1. スタンダール
2. ゾラ
3. バルザック
4. フロベール
5. モーパッサン

[作品群]

1. 赤と黒
2. 居酒屋
3. 脂肪の塊
4. 人間喜劇
5. ボヴァリー夫人

(3) ポグロムやドレフュス事件を経て、シオニズムが運動として組織化されていく。シオニズムとは何かを、解答欄Bの所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問7 下線部Fに関連して、以下の(1)、(2)に答えなさい。

(1) 次の史料a～cは、1917年から1918年に発表された演説の記録または文書の一部である。このうち2つは、ロシアで発表されている。史料cを発表した人物名を、解答欄Bの所定の欄に記述しなさい。

a.

公正な、または民主的な講和は、…無併合（すなわち、他国の土地を略奪することも他の諸国民を強制的に統合することもない）、無賠償の即時の講和である。

b.

ロシアにおける現在の時機の特異性は、プロレタリアートの自覚と組織性が不十分なために権力をブルジョワジーに与えた革命の第一段階から、権力をプロレタリアートと農民の極貧層の手に与えなければならぬ革命の第二段階への移行ということである。

c.

われわれが、この戦争の結末として要求することは、われわれに特殊なことではまったくありません。…一四、大国と小国とを問わず、政治的独立と領土的保全とを相互に保障することを目的とした明確な規約のもとに、国家の一般的な連合が樹立されねばならない。

〔資料出所〕歴史学研究会編『世界史史料10』

(2) 上の(1)の史料a～cを古い順に並べ替え、適切な順序を示すものを次の1～6から選びなさい。

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. a→b→c | 2. a→c→b | 3. b→a→c |
| 4. b→c→a | 5. c→a→b | 6. c→b→a |

問8 下線部Gに関連して、「ソヴィエト」について述べた次の1～4の文章の中から、誤りを含む文章を1つ選びなさい。

1. 第1次ロシア革命の際に、各工場の労働者や各地の農民が自主的に代表を選出して、ソヴィエトと呼ばれる評議会を結成し、これが革命を推進する力となった。
2. 第一次世界大戦中、労働者や兵士がペトログラードでソヴィエトを組織し、臨時政府成立後もこのソヴィエトが存続したために、二重権力状態となった。
3. ドイツでは、ロシア革命政府とブレスト＝リトフスク条約を結んだ後、キール軍港で水兵の反乱が起こり、ソヴィエトと同義のレーテが次々に結成された。
4. 中国では、江西省瑞金で毛沢東を主席とする中華ソヴィエト共和国臨時政府が成立した後、蔣介石が南京に国民政府をたてて国共分裂となった。

問9 下線部Hに関連して、次の文章の(a)～(e)に入る適切な人名を、それぞれ下の人名群から選びなさい。

社会主義・共産主義の思想は、マルクス主義によって代表されるわけではない。古代ギリシアでは、哲人王による統治を理想とした(a)の『国家』のなかに、一種の共産主義的構想が見られ、ルネサンス期には(b)の『ユートピア』にやはり共産主義的社会を見ることが出来る。しかし、フランス革命のなかで、このような机上の理想社会を政治革命によって実際に樹立しようとした(c)の出現によって、共産主義は思想から運動へと進展していく。

イギリスで労働者の待遇改善に努めた(d)は、アメリカで共産主義村の建設を試み、また、協同組合運動で先駆的な役割を果たした。フランスでは、『労働の組織』の著者である(e)が、1848年の二月革命に際して臨時政府に閣僚入りした。

[(a)～(c)の人名群]

- | | | |
|------------|------------|----------|
| 1. アリストテレス | 2. エラスムス | 3. ソクラテス |
| 4. トマス＝モア | 5. バブーフ | 6. プラトン |
| 7. ルソー | 8. ロベスピエール | |

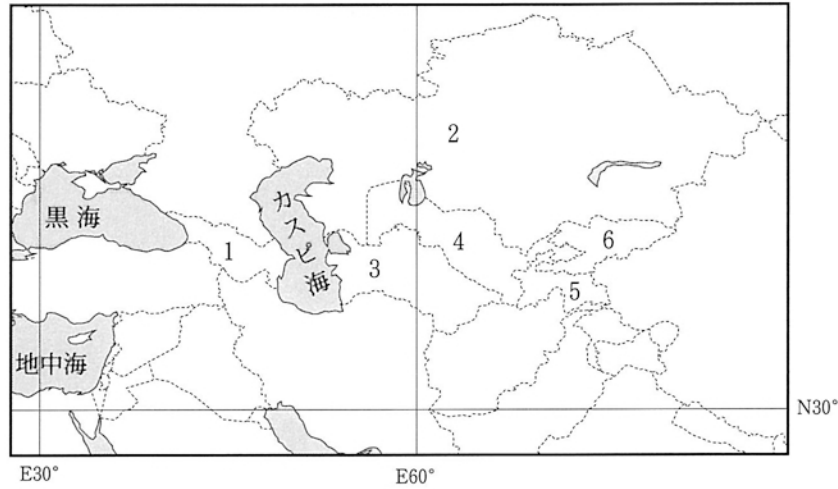
[(d)・(e)の人名群]

- | | | |
|----------|-----------|-----------|
| 1. エンゲルス | 2. オーウェン | 3. サン＝シモン |
| 4. フーリエ | 5. ルイ＝ブラン | |

問10 下線部Iに関連して、各国の共和政について述べた次の1～4の文章の中から、誤りを含む文章を1つ選びなさい。

1. ローマでは、紀元前6世紀に、エトルリア人の王を追放して共和政が成立し、2名の執政官が選出された。当初は貴族しか執政官になれなかったが、リキニウス＝セクスティウス法により、1名の執政官は平民より選ばれることとなった。
2. イギリスでは、17世紀にピューリタン革命が起こり、国王チャールズ1世が処刑されて、共和政が樹立された。クロムウェルが終身の護国卿に就いたが、その死後、チャールズ2世が王政復古を行なった。
3. アメリカでは、独立戦争に勝利した13植民地の独立がパリ条約で承認された後、フィラデルフィアの憲法制定会議で、アメリカ合衆国憲法を制定し、人民主権を基礎とする共和政の採用が決められた。
4. フランスでは、立憲君主政を定めた憲法が発布された翌年にルイ16世が処刑された結果、男子普通選挙による国民公会が成立して、共和政が宣言された。しかし、ジャコバン派が独裁権をにぎって、恐怖政治に陥った。

問11 下線部 J に関連して、1922年に「連邦」を構成していたロシア、ベラルーシ、ウクライナ、ザカフカスの4か国のうち、ザカフカスの位置を次の地図上の1～6から選びなさい。



問12 下線部 K に関連して、ソ連に関する次の a～c の出来事が起きた時期を、下の年表中の空欄 1～8 から選びなさい。(重複使用不可)

- a. スターリングラードでドイツ軍を降伏させる
- b. 日本に対して参戦する
- c. フィンランドに宣戦する

1

レーニンが死去する

2

第1次五か年計画を開始する

3

国際連盟に加入する

4

スターリン憲法を發布する

5

独ソ不可侵条約を結ぶ

6

日ソ中立条約を結ぶ

7

ヤルタ会談が開かれる

8

問13 下線部 L に関連して、シハヌークが1970年に追放されてから、1993年に再即位するまでのカンボジア内戦の経緯を、〔解答欄 B〕 の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

II 16世紀以降の中国を中心とした東アジアの国際秩序について述べた次の文章を読んで、以下の問14～問20に答えなさい。解答は、設問で指定された場合を除いて、すべて解答用紙の〔解答欄 A〕の所定の欄に記入しなさい。

16世紀に入ると、明を中心とした東アジアの国際秩序は大きく変化しはじめた。(ア)は、モンゴル勢力を率いて明をおびやかし、16世紀なかばには北京を包囲した。女真諸部族を統合した(イ)が17世紀に入って建国した後金は後に清と改称し、A 中国全土へと支配を広めていった。またヨーロッパ諸国の東洋への関心の高まりにともない B 国際交易におけるアジアの重要度も増した。

C 19世紀後半以降には諸外国による東アジアへの進出が本格化し、とくに D 清が日清戦争に敗北すると、諸外国は清での勢力拡張を争った。清国内でも清朝打倒をめざす動きが加速し、E 辛亥革命が起こって清朝は滅亡した。F 第一次世界大戦以降、国共対立と協調が錯綜する状況が続いたが、第二次世界大戦後には中華人民共和国が成立した。

問14 上の文章中の(ア)、(イ)に入る適切な人名を、次の人名群1～6から選びなさい。

〔人名群〕

- | | | |
|---------|------------|-----------|
| 1. アクバル | 2. アルタン=ハン | 3. エセン=ハン |
| 4. ヌルハチ | 5. バーブル | 6. ホンタイジ |

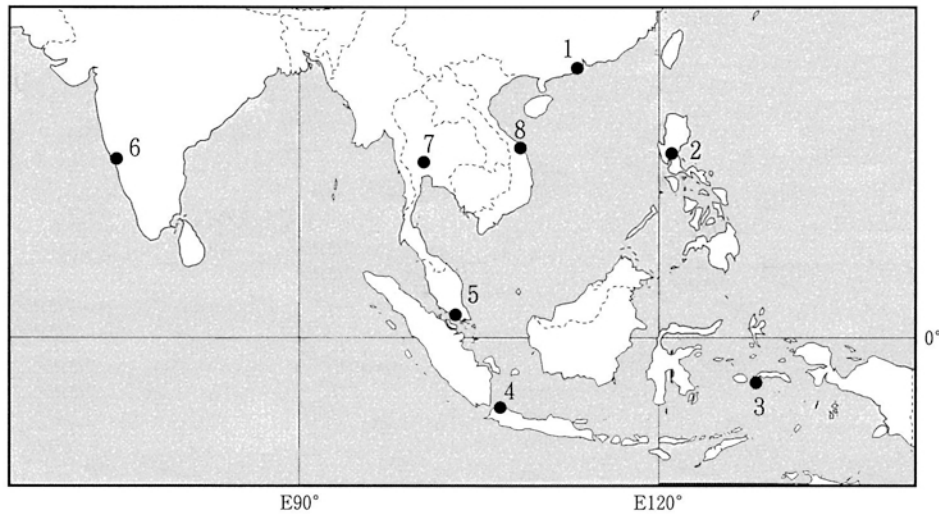
問15 下線部 A に関連して、清朝が設置した理藩院はどのような役割をもったか、〔解答欄 B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問16 下線部 B に関連して次の文章を読み、以下の(1)、(2)に答えなさい。

スペインは、(ア)から(a)に銀を送り、そこで中国産の絹織物などと交換する(ア)貿易を行なった。ポルトガルは、16世紀半ばに明から(b)での居住権を得て中国貿易の根拠地にし、19世紀に正式にこれを植民地化した。オランダは、17世紀前半に、(c)に要塞を築き東インド会社の根拠地とした。イギリスは、同国商館員らがオランダ人に殺害された(d)事件が17世紀前半に起こると、インド経営に注力していった。

(1) 上の文章の空欄(ア)に入る適切な地名を、〔解答欄 B〕の所定の欄に記述しなさい。

(2) 上の文章の空欄 (a) ~ (d) に入る地名を示す場所として適切なものを、下の地図中の1~8からそれぞれ選びなさい。(重複使用不可)



備考：国境線は現在のもの。

問17 下線部Cに関連して、次の史料a~cは、清とイギリスの間で結ばれた条約の一部である(必要に応じて文章の一部を省略し、表現を変更した。また、史料cの[X]にはある河川名が入る)。これらに関する以下の(1)~(4)に答えなさい。

a.

第1条 …(A)で締結された条約の批准書の交換のために英国使節が北京に入ることを妨げた大沽の部隊の行為により友好関係の断絶が生じたことに対し、中国皇帝は深甚なる遺憾の意を表す。
 第4条 本条約署名の日をもって中国皇帝は貿易のために(A)港を開港するとの同意がなされる。
 第6条 …中国皇帝は大英帝国女王…に九竜の一部を割譲…することに同意する。

b.

第3条 …中国皇帝は大英帝国女王…に(A)を割譲する。
 第5条 中国政府は英国商人に対し(B)で…特許を与えられた特定の中国商人のみと取り引きするよう強いてきたが、中国皇帝は…この制度を廃止することに同意する。

c.

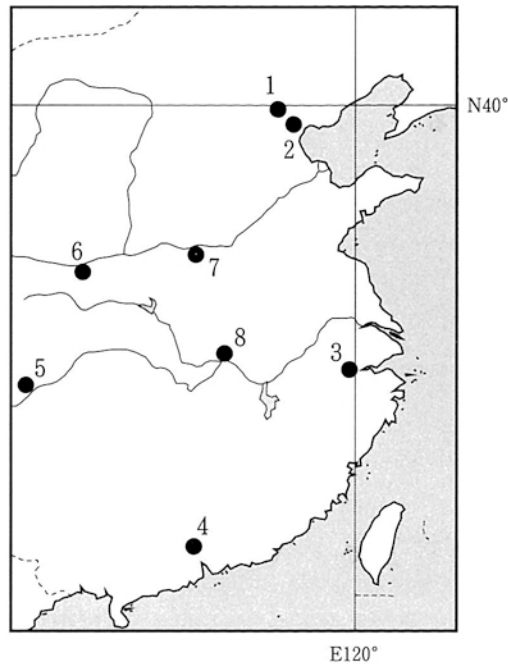
第2条 将来の協調をよりよく維持するために、大英帝国女王と中国皇帝は、大英帝国女王が…北京宮に大使、公使、あるいは他の外交代表を任命できる…ことに同意する。
 第10条 英国商船は[X]での交易権を有するものとする。…
 英国商船はまた[[X]上流では](C)までの諸港で…交易を認められるものとする。

(資料出所は、省略する。)

(1) 上の史料a~cの条約を締結された年代の古い順に並べ替え、適切な順序を示すものを次の1~6から選びなさい。

1. a→b→c 2. a→c→b 3. b→a→c
 4. b→c→a 5. c→a→b 6. c→b→a

- (2) a～cの条約中の(A)～(C)に入る地名の場所として適切なものを、次の地図上の1～8からそれぞれ選びなさい。(重複使用不可)



備考：国境線は現在のもの。

- (3) bの条約中の(ア)に入る地名として適切なものを、次の1～4から選びなさい。

1. 香港島 2. 新界 3. 威海衛 4. 上海

- (4) bの条約中の波線部の制度が始まった時の中国皇帝名を、【解答欄B】の所定の欄に記述しなさい。

問18 下線部Dに関連して、以下の(1),(2)に答えなさい。

- (1) 次の文章は、アメリカの国務長官が、諸外国駐在の合衆国大使に発した文書の一部である(必要に応じて文章の一部を省略し、表現を変更した)。この国務長官の人名を下の人名群1～6から選びなさい。

我々は北京の状況を実質的な無政府状態とみなしている。…我国の目的はこの混乱の他地域への波及や再発を防ぐうえで他の列強と協力することにある。…政府の方針は、中国に恒久的な安全と平和をもたらさうる解決策を求め、中国の領土・行政の実体を保全し、…中国全域での平等公正な交易という原則を世界のために守ることである。

[資料出所] Michael D. Gambone, *Documents of American Diplomacy*.

[人名群]

1. ケロッグ 2. シャーマン 3. ジョン=ヘイ
4. ハル 5. マーシャル 6. ランシング

(2) この文書が出された時期として適切なものを、次の年表中の空欄1～6から選びなさい。

1

下関条約が締結される

2

ロシアが東清鉄道敷設権を獲得する

3

北京議定書が調印される

4

日英同盟が成立する

5

日露協約が成立する

6

問19 下線部 E に関連して、辛亥革命が勃発してから清朝が滅亡するまでの経緯を、〔解答欄 B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問20 下線部 F に関連して、以下の(1)、(2)に答えなさい。

(1) 第一次世界大戦後の中国に関連した次の文章の中から、誤りを含む文章を1つ選びなさい。

1. パリ講和会議で二十一か条要求取り消しの求めが退けられると、中国ではヴェルサイユ条約への反対や排日の動きが五・四運動に発展したため、パリの中国代表団は同条約への調印を拒否した。
2. 孫文が中心となって中国国民党が成立し、次いで、雑誌『新青年』を刊行し新文化運動を牽引した陳独秀を指導者とする中国共産党が、コミンテルンの支援をうけて成立した。
3. 九か国条約で中国の主権尊重・領土保全などの原則が確認され、さらに、上海での労働争議を契機に五・三〇運動が展開したため、日本は山東省の旧ドイツ権益などを中国に返還した。
4. 孫文は中国共産党との協力をめざし、中国国民党大会において、中国共産党員の中国国民党への加入の容認、「連ソ・容共・扶助工農」の方針の採択を導いた。

(2) 満州事変以降、第2次国共合作が成立するまでの経緯を、下にあげた5つの語のうち3つを使って、〔解答欄 B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

上海クーデター 西安事件 中ソ友好同盟相互援助条約 八・一宣言 盧溝橋事件